



奨学金： しずぎんアジア留学生奨学金

大 学： 静岡県立大学

名 前： LIM MAO SHAN

国 籍： マレーシア

学費の面だけではなく、生活費の面でも支援をいただいているため、この一年間は自分のやりたいことを諦めることなく、意欲的に取り組むことができました。この奨学金をいただいたとき、是非恩返しをしたいと思い、学業の成績を上げるだけでなく、地域に貢献できるような活動をしようと決意しました。

大学のゼミ活動の一環としてゲームラボに参加し、子供たちとゲームを通して言語を学びながら楽しむことを目的としたゲームエキスポというチャリティイベントを開催しました。ゲームラボでは、子供病院への募金活動をするると同時にゲームを使った子供たちの学習の発達についての研究をしています。

また、私は様々なボランティア活動に携わってきました。大学で三保の『羽衣伝説』を伝えるための読み聞かせの活動に参加させていただいたときには、絵本を通じてたくさんの地元の方々と交流することができました。この美しい物語を一人でも多くの人々に伝えるため、私は自国で学んだグラフィックデザインの知識を活かし、ウェブサイトを作成しました。また、ほかの学部の先生と学生たちと一緒に静岡の一番北にある井川のPR活動に取り組んでいます。

あっという間に学生としての生活は後一年ほどしかないことに気づきました。残りの時間を計画的に使い、思い残すことなく、充実した学生生活を送りたいです。これから4年生になりますが、より様々な学外活動やボランティア活動において活躍し、経験を積み重ねていきたいと思えます。また、さらに韓国語の学習にも力を入れ、母国語を挟まず、自分の言語として自然に操られる状態になれるまで努力したいと思えます。さらに、日本で就職活動をしたいと思っていますので、自分が大学で学んだことを整理するとともに、就職活動に向けた自己分析や企業研究など、日本のビジネススクールに従った準備を行っています。私は、海外企業との商談や交渉に興味がありますので、今の語学力をさらに向上させ、日々勉強に励んでいきたいと思えます。